



2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名 株式会社バリューゴルフ 上場取引所 東
コード番号 3931 URL <https://corp.valuegolf.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水口 通夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 渡辺 和昭 (TEL) 03-6435-1535
四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	1,789	△22.4	35	△76.7	29	△77.0	10	△87.1
2023年1月期第2四半期	2,305	—	153	47.2	127	40.3	84	113.9

(注) 包括利益 2024年1月期第2四半期 10百万円 (△87.9%) 2023年1月期第2四半期 83百万円 (111.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	6.02	—
2023年1月期第2四半期	46.53	—

(注) 1 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。比較対象となる会計処理方法が異なることから、2023年1月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	2,709	1,150	42.4
2023年1月期	2,508	1,176	46.8

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 1,147百万円 2023年1月期 1,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年1月期	—	0.00	—	—	—
2024年1月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2 配当予想の修正については、本日（2023年9月14日）に公表いたしました「創立20周年記念配当（特別配当）」に関するお知らせをご覧ください。

3 2024年1月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	8.0	300	26.4	290	38.4	200	74.2	110.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期2Q	1,807,000株	2023年1月期	1,807,000株
② 期末自己株式数	2024年1月期2Q	191株	2023年1月期	191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期2Q	1,806,809株	2023年1月期2Q	1,806,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年2月1日～2023年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたこと等により、行動制限の緩和、経済活動の活性化が一層進み緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や原材料・資源価格の高騰、円安や世界的なインフレの加速などにより、先行きは依然不透明な状況となっております。

ゴルフ事業を取り巻く環境におきましては、ゴルフ場利用者数の前年同月比が5月4.8%減、6月3.0%減となりました(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」)。利用者数がやや減少傾向となった背景として、燃料の高騰に起因したゴルフプレー料金の高止まりやレジャーの選択肢がCOVID-19感染拡大前と同程度まで復活したこと等があると考えられます。

トラベル事業を取り巻く環境におきましては、国際線定期便がCOVID-19感染拡大前の6割まで運航便数が戻ったことにより、訪日外客数は5月が1,899千人(2019年同月比31.5%減)、6月が2,073千人(2019年同月比28.0%減)、7月が2,320千人(2019年同月比22.4%減)と回復傾向が続きましました。また、出国日本人数も5月が675千人(2019年同月比53%減)、6月が703千人(2019年同月比53.8%減)、7月が891千人(2019年同月比46.3%減)と徐々に回復している傾向が見られます(日本政府観光局「JNTO」)。

このような環境の下、当社グループは『1人予約ランド』を核にしたゴルフ事業の更なる拡大を推進し、トラベル事業で売上高の拡大及び収益力の強化を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,789,692千円(前年同期比22.3%減)、営業利益35,719千円(前年同期比76.6%減)、経常利益29,450千円(前年同期比76.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10,868千円(前年同期比87.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、ASPサービス『1人予約ランド』の会員数が引き続き堅調に推移し、2023年7月31日時点では99.7万人(前年同期比11.3%増)となりました。そして2010年10月のサービス開始から約13年、8月には100万人の大台を突破いたしました。今後もより多くのユーザーから支持されるサービスとなるよう、更なる機能追加・改善を続けてまいります。

その一環として、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン(以下、GDO)との1人予約サービスにおける予約状況等の情報の相互連携をスタートしております。本提携では、ゴルファーは当社及びGDOいずれかの1人予約サービスを利用しているゴルフ場の予約が可能となり、これまで以上に多くのゴルフ場が選択できるようになります。さらに、それぞれのサービスから同一のスタート枠への予約が可能となることにより、人数不足により不成立となる枠が減り、ゴルファーのプレー機会が増加します。また、ゴルフ場が使用する管理画面は当社の『1人予約ランド』に一本化することになり、ゴルフ場にとってはオペレーション負荷の軽減効果が見込まれ、今後更なる会員数の増加、サービス規模拡大の加速が期待されます。

広告・プロモーションサービスにおきましては、『VALUE GOLF WEB』へのアクセス数は前年比110%超の水準で推移しており、各サービスにおける集客効果が強化されております。今後は紙媒体『月刊バリューゴルフ』とWEB媒体『VALUE GOLF WEB』の連動企画を増やし、より宣伝効果の高い高付加価値のプロモーション施策となるようサービスの改良を進めてまいります。

ECサービスにおきましては、米国における物価高及び円安の影響により、ゴルフクラブ販売における並行輸入品の価格優位性が失われる状況が続いております。これまで当社グループの強みとしてきた並行輸入品の販売は、当面の間、価格面での苦戦が予想されるため、今後は日本モデルの取り扱い割合を増やす等、全体の商品構成改変を進めてまいります。一方で、各店舗においてはクラフト工房を設置、グリップ交換や角度調整といったゴルファーの細かなニーズに対応できる体制を整えた他、免税販売を開始し、インバウンド需要の取り込みを進めております。また、ゴルフ場への卸販売やゴルフ場内のプロショップの運営受託など新たな取り組みを開始し、並行輸入品の販売への依存度を下げた新たなビジネスモデルの構築を図っております。

レッスンサービスにおきましては、バリューゴルフ大崎、ジーパーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolfともに会員数が引き続き堅調に推移いたしました。店舗では定期的にフィッティング会を実施し、個人に合ったクラブ選びをサポートしております。試打・練習・レッスン・ショップと複合サービスを展開するゴルフ複合施設としてゴルファーより好評を得ており、様々な目的での来訪によりビジター利用も増加しております。今後はSNSを活用し幅広くゴルファーに周知させるとともに、より多くのニーズに応えるため、サービスやイベントの改善を進めてまいります。

以上の結果、売上高1,624,438千円（前年同期比23.3%減）、営業利益215,210千円（前年同期比36.2%減）となりました。

（トラベル事業）

トラベル事業におきましては、世界的な入国規制の緩和等を受け、旅行需要は緩やかに回復へ向かっております。特にテーマ毎の内容にこだわったゴルフ旅行や、在日外国人向けのバス旅行の企画、催行に注力いたしました。また、個人旅行だけでなく団体旅行・法人旅行にも力を入れ、企業の海外からの研修生受入の際の各種手配も積極的に行いました。これらの施策によりトラベル事業は堅調に推移し、旅行取扱高は前年同期比で20.1%増となりました。一方、計上方法の異なる取扱手数料等の割合が増加したため、売上高は減少しております。

今後は年末に向けてさらなる需要回復を見越して、各種ツアーの計画や仕入れを強化してまいります。

以上の結果、売上高153,100千円（前年同期比9.6%減）、営業利益9,257千円（前年同期比43.7%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業セグメントにおきましては、広告メディア制作事業において、ブライダル広告の掲載依頼数も堅調な推移をしております。今後は、ゴルフ場の販促ツールや地方観光協会のパンフレットなど社内の制作リソースを活用した新たな商材制作を行ってまいります。

以上の結果、売上高17,295千円（前年同期比14.8%減）、営業利益6,609千円（前年同期比5.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して201,443千円増加し、2,709,820千円となりました。これは主に売掛金の増加46,487千円、商品の増加44,027千円、旅行前払金の増加17,449千円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して227,486千円増加し、1,559,473千円となりました。これは主に短期借入金の増加300,000千円、旅行前受金の増加27,330千円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して26,042千円減少し、1,150,347千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10,868千円の計上及び配当金の支払36,136千円による利益剰余金の減少25,267千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ32,946千円増加し、1,160,537千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、174,048千円の資金減少(前年同期は278,588千円の資金減少)となりました。

これは、旅行前受金の増加27,330千円による資金の増加、棚卸資産の増加58,168千円及び旅行前払金の増加17,449千円による資金の減少が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、25,960千円の資金減少(前年同期は5,420千円の資金減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出22,184千円及び無形固定資産の取得による支出3,738千円による資金の減少が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、232,103千円の資金増加(前年同期は287,195千円の資金増加)となりました。

これは、短期借入金の純増額300,000千円による資金の増加、長期借入金の返済による支出32,000千円及び配当金の支払額35,896千円による資金の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①2024年1月期の連結業績予想(通期)

当社グループの2024年1月期通期連結業績予想につきましては、2023年3月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

当第2四半期累計期間における業績は、ゴルフ用品販売においてECサービスにおける輸入ゴルフクラブの販売不振等の影響を受けたものの、第3四半期以降はGDOとの業務提携が本格的に開始したことやゴルフ場へのゴルフ用品販売による業績拡大、トラベル事業における経営環境の改善により売上高の回復が見込まれます。そのため、通期の業績は現時点では達成可能と判断しております。

②期末配当予想の修正(増配)

当社は、2024年2月26日に創立20周年を迎えるにあたり、2024年1月期の期末配当において、1株当たり5円の記念配当を予定しております。

これにより、2024年1月期の期末配当金は、普通配当20円と合わせ、1株25円となる予定です。

詳細は、本日(2023年9月14日)公表の「創立20周年記念配当(特別配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,159,772	1,193,018
売掛金	240,771	287,259
商品	784,117	828,145
旅行前払金	51,531	68,980
その他	61,535	99,554
貸倒引当金	△26	△30
流動資産合計	2,297,701	2,476,927
固定資産		
有形固定資産	35,603	57,207
無形固定資産		
その他	16,981	18,369
無形固定資産合計	16,981	18,369
投資その他の資産		
その他	201,020	200,894
貸倒引当金	△42,930	△43,579
投資その他の資産合計	158,090	157,315
固定資産合計	210,675	232,893
資産合計	2,508,376	2,709,820
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,387	177,279
未払法人税等	32,007	22,102
短期借入金	650,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	43,758	19,108
旅行前受金	90,789	118,119
その他	167,260	110,393
流動負債合計	1,166,204	1,397,002
固定負債		
長期借入金	138,448	131,098
資産除去債務	27,334	31,372
固定負債合計	165,782	162,470
負債合計	1,331,986	1,559,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,328	382,328
資本剰余金	374,819	374,819
利益剰余金	415,484	390,216
自己株式	△338	△338
株主資本合計	1,172,294	1,147,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,695	921
その他の包括利益累計額合計	1,695	921
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,176,390	1,150,347
負債純資産合計	2,508,376	2,709,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	2,305,851	1,789,692
売上原価	1,521,416	1,137,103
売上総利益	784,435	652,588
販売費及び一般管理費	631,372	616,869
営業利益	153,062	35,719
営業外収益		
受取利息及び配当金	178	221
貸貸収入	307	307
受取補償金	3,100	—
その他	776	234
営業外収益合計	4,363	764
営業外費用		
支払利息	3,521	3,869
貸倒引当金繰入額	5,119	—
支払手数料	727	248
為替差損	19,876	2,607
その他	352	307
営業外費用合計	29,597	7,033
経常利益	127,828	29,450
税金等調整前四半期純利益	127,828	29,450
法人税、住民税及び事業税	41,562	18,127
法人税等調整額	2,196	454
法人税等合計	43,759	18,581
四半期純利益	84,068	10,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,068	10,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	84,068	10,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	△774
その他の包括利益合計	△343	△774
四半期包括利益	83,725	10,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,725	10,093

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	127,828	29,450
減価償却費	5,606	6,844
受取補償金	△3,100	—
引当金の増減額 (△は減少)	△222	415
受取利息及び受取配当金	△178	△221
支払利息	3,521	3,869
為替差損益 (△は益)	△877	△853
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,885	△47,612
旅行前払金の増減額 (△は増加)	△44,807	△17,449
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△371,632	△58,168
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,838	△5,108
旅行前受金の増減額 (△は減少)	61,948	27,330
未払金の増減額 (△は減少)	—	△4,053
その他	9,496	△77,829
小計	△242,463	△143,387
利息及び配当金の受取額	160	221
利息の支払額	△3,559	△3,854
法人税等の支払額	△35,825	△27,028
補償金の受取額	3,100	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△278,588	△174,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△22,184
無形固定資産の取得による支出	△5,170	△3,738
その他	△250	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,420	△25,960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△26,640	△32,000
配当金の支払額	△36,164	△35,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	287,195	232,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	877	853
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,064	32,946
現金及び現金同等物の期首残高	1,135,493	1,127,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,139,558	1,160,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,118,803	169,461	2,288,264	17,586	2,305,851	—	2,305,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	446	51	498	2,729	3,227	△3,227	—
計	2,119,249	169,513	2,288,762	20,316	2,309,079	△3,227	2,305,851
セグメント利益	337,720	6,441	344,161	6,246	350,408	△197,346	153,062

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額△197,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,624,230	151,283	1,775,513	14,178	1,789,692	—	1,789,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	207	1,817	2,025	3,117	5,142	△5,142	—
計	1,624,438	153,100	1,777,539	17,295	1,794,835	△5,142	1,789,692
セグメント利益	215,210	9,257	224,468	6,609	231,078	△195,358	35,719

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額△195,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。